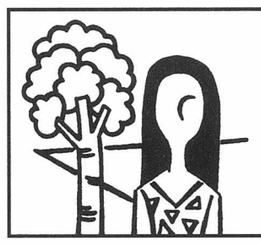
The Women's News, Japan

This paper's aim is to promote peace and equality from the point of view of women.

本紙は女性の視点で平和と平等を推進します

女性ニューズ
The Women's News, Japan



ポジティブ・アクションで
女性の地位向上を!!
全国婦人新聞社

発行所　全国婦人新聞社　〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-7-28 宝幸西新宿ビル　電話 03-3343-1846㈹　FAX 03-3348-1890　E-mail : josei-news@arion.ocn.ne.jp　URL http://www.josei-news.jp　月3回発行（10日、20日、30日）　購読料 1年 7,245円　振替口座 00150-7-172320（郵送料、消費税込み・前納）

貧困とグローバル化
第59回国連総会報告会

人身売買にも焦点
強調された政府の責任

報告する平敷さん

2004年9月から12月にかけて開かれた、第59回国連総会について聞く「第59回国連総会報告会」（主催・国連NGO国内婦人委員会）が、19日、婦選会館（東京・代々木）で開かれた。国連NGO国内婦人委員会では、毎年、国連総会に出席する政府代表団にNGOの代表を選び、政府代表代理として出し、主に、女性問題にかかわりの深い第3委員会の討議の模様などについて、いち早く報告会を行っている。今回選ばれたのは、平敷淳子（日本女医会理事・埼玉医科大教授）さん。報告会では、外務省の角茂樹（大臣官房国際社会協力部参事官）さんが国連総会のトピックを、平敷さんが第3委員会についてレポートした。

角さんは、昨年12月に国連で採択された「ハイレベル委員会」報告書の中から、人間の安全保障、世界エイズ・結核・マラリア対策基金、人身売買について話した。人身売買では、日本には、人身取引を取り締まる法律がなく、世界の非難を浴びている。政府は、量刑を厳しくした法案を春の国会に提出すべく行動計画案を作成しているが、日本のメディアは、根本的な問題より「貧しい外国の女性を排斥するのか」という認識なので、NGOの力を貸して欲しいと訴えた。

平敷さんは、議場の写真など、パソコンでスライドを使って報告。「社会開発には、全ての人の貧困をなくしグローバル化の中で国際的に考えなくてはならないが、自国政府の責任が大切であることが強調された」。注目の世界女性会議については、非公式会合で、資金面の問題で、次期10年について何も決まらなかったと話した。女性に対する暴力は地域、宗教にかかわらず、各国が取組んでいる問題であること。また、女性の地位委員会（CSW）ディレクターのキャロライン・ハナンさんの「女性の状況をモニターし、足りないところは進展を促すこと」。ノエリーン・ヘイザー（UNIFEM事務局長）さんの「女性の地位を高めるには経済的自立を。安全保障に女性の人権を」。そして「ジェンダー平等が進んでいないので、経済・社会の格差の是正を」と思慮深いことばで話したアカー（CEDAW議長）さんらの発表がハイライトだったと話し、多くの議題で、全て根本に貧困があり、グローバル化が係っていることを強く感じたと話した。

NHK改ざん問題

真相を明らかに！
VAWNET 控訴審結審は延期

いま日本中の注目を集めているNHK番組改ざん問題。最初に報道した朝日新聞に対し、自民党安倍幹事長代理、NHKは"圧力"の事実はない、歪曲報道と激しく抗議している。政治家の介入で番組を改変したことが事実とすれば大変なことになるので否定し通すだろう。国民は、国会などできちんと検証され、事実が明らかにされることを願っている。

問題が明らかになった（1月12日）直後、1月17日は「戦争と女性への暴力」日本ネットワーク（VAWNET ジャパン）がNHKなどを相手に争っているNHK教育テレビ「戦争をどう裁くか」の番組改変問題控訴審の結審の予定の日だった。新しい状況に弁護団は安倍幹事長代理やNHK幹部を証人として呼びたいと申請、結審は延期された。当日夜の報告集会は満員の盛況。報告につづき参加者たちも大いに発言したが「放送の前日安倍氏のところにNHKが行き、予算の説明とともに番組の説明をし、安倍氏が公平な番組にしてほしいといった（ここまでは安倍氏も認めている）というが、これだけでも、十分"介入"である」「なぜわざわざこの番組の説明をしたか（地味な教育テレビの番組である）それだけでもおかしい」という意見が続出した。

「法廷」への歪曲発言が垂れ流し

問題が出てから、安倍氏は、数日間テレビのニュース番組に出ずっぱりだったが、その中で「女性国際戦犯法廷」を「非難」しつづけた。事実と違う点があったが、誰もチェックする人もなく、垂れ流し状態だった。

VAWNETは事実と違う点7点を指摘、マスコミに送付、安倍氏には謝罪訂正を要求したが、殆ど報道されない。朝日の虚偽報道"は大きく報道されるのにあまりに不公平。

VAWNETの指摘した歪曲は―。▽法廷には被告も被告側弁護人もいない。→法廷は開催2カ月前に全裁判官の名で首相（当時森喜朗氏）に被告側弁護人の出廷を要請したがなんの応答もなかったので「アミカスキュリエ（法廷助言人）という形で被告側主張を行った▽模擬裁判ともいえないひどいもの→国際的な民衆裁判であり「法廷憲章」にもとづいて膨大な証拠資料を提出した。裁判官は国際法にとりくむ専門家、学者でレベルは世界的に評価されている▽「法廷」は北朝鮮の謀略、拉致問題の沈静化をはかった→拉致問題が問題化したのは2002年9月小泉首相の訪朝から。法廷は2000年12月で、沈静化をはかる理由がない、北朝鮮は韓国とともに「南北コリア検事団」を組んだ。安倍氏が工作員と名指した人物もその一人に過ぎない、等々。

「女性国際戦犯法廷」最終日。「有罪」判決が下ると感動した被害者たちは舞台に上がり喜んだ。観客席からも感動し、手を振ったり拍手する人も。これを安倍氏は「異常」と非難した

ジャーナリストたち緊急の記者会見

1月18日、ジャーナリスト、メディア研究者16人が緊急記者会見を行った（於・参院議員会館）。「NHKだけでなくメディア全体の問題」「第3者による調査機関を設け調べるべき」など発言があいつぐ。当時、この番組を制作したドキュメンタリージャパンにいた坂上香さんも発言。異常な状況だったことを語った。

改憲国会にさせない！
市民の声無視悪法つぎつぎ

162回通常国会が始まった21日、『改憲国会にさせない』～行動のうねりを」とする市民と国会議員による院内集会が開かれた。呼びかけたのは、憲法記念日に毎年大集会を開いてきた「5・3憲法集会実行委員会」。

平日にもかかわらず立ち見も出るほど。冒頭「憲法改悪に反対」する2万1400人余りの署名が、出席議員に託された。これまでの署名を通算すると約14万人。

主催団体「許すな！憲法改悪・市民連絡会」の高田健さんは、「自民、公明が今国会で、憲法改正の手続きを定める国民投票法案を出す動きを強めている。これには大きな問題がある。同法案は改正すべき条項ごとに審議し投票するのか、一括投票にするのか、肝心な部分は書かれていない大雑把なもの。自民党は、一括方式を狙っている」。

野党第一党の民主党も「改憲手続きを議論しないほうがおかしい」と言っており、9条改憲の必要も打ち出している中で、投票法案が国会に出されれば、数の力で押し切られるのは必至。「国会に出させてはならない」と高田さん。

いま、憲法改正を巡る動きは、経済同友会、日本商工会議所に加え18日、日本経団連が集団的自衛権、国民投票法案を含む意見書を発表し、財界3団体が揃い踏みで、9条の改憲を求めている。4月には、衆参両院の憲法調査会の最終報告書、自民の改憲草案も出される模様。ターニングポイントを握る公明、民主は「加憲」、「創憲」など、内容は違っていても改憲に浮き足立っている。改憲反対は共産、社民のみという状況。

どう改憲阻止をするか。社民党の福島瑞穂さんは、日本の不戦の60年間は宝だと言い、「9条を守ってきたから経済発展があり、アジアの中で受け入れられてきた。なぜその宝を捨てるのか。国会の内と外がしっかりスクラムを組み、世界のNGOの人たちともダイナミックに手を結び、改正を阻止していく」。共産党の山口富男さんも「憲法改正や国民投票の意味、国会の動きを草の根で知らせていくことが大切」。民主党の円より子さんは、「いったん手放した平和、自由は、取り戻すには大きな労力と時間がかかる。戦争ができる国にさせてはならない」。無所属の糸数慶子さんは、軍隊を捨てた国コスタリカを紹介し、「国民は自分の国を誇りにしている。日本もそんな国を目指したい」と決意を述べた。

署名を議員に託した

たんぽぽ

始まったばかりの国会で、民主、社民両党が集団退席する騒ぎが起こった。小泉首相の切り口上の答弁がことの起こりだ。退席がいいかどうか論議はあるが、近頃の首相の答弁を聞くと退席したくなる気持ちはわかる▼イラク問題、年金、政治と金…、問題が大きいほど答弁がひどくなる。野党をなめていて、挑発しているという説もあるが、自分でも説明できなくて捨てぜりふを吐いているようにもみえる▼小泉人気は歯切れのいい短い言葉にあったように思う。貴乃花の相撲での「感動した！」とか。「改革」の掛け声に浮かされて国民が踊った。だが、初めのころは自分の言葉の演説もあった思うが、近頃は棒読みでまこと冴えない▼それにしても、小泉首相だけでなく、政治家の演説が下手になっているのではないか。世の中全体が演説に興味を持たなくなった？　一世を風靡した名演説などは戦前の話だ▼成人の日の「青年の主張」もなくなった。独特のくさみのある語り口が笑われたが、若い人が真っ正面から社会に立ち向かって語るのはいいことだったが▼戦後の学校で、人気のある部は、新聞、演劇、そして弁論部だった。若者たちは熱情を持って自分を表現した。いま、弁論部のある高校は少ないと思う。若者は政治に興味を失い、演説に関心がなくなった。そして首相の答弁はますます素っ気なく、説明責任まで放棄しているようだ。

海外通信　中国＝㊻　森碧

続・北京から你們好（こんにちわ）！

あの"秀水市場"が…
近代化で消える露店市場

秀水（しゅうすい）市場といえば、北京ではちょっと有名な場所だった。大使館街の狭い路地に、簡単なつくりの露店が並び、有名ブランドのニセモノバッグや服、時計、中国名産の絹のパジャマや玉の腕輪、人形などが、たてに横に所狭しと並んでいる。いつ行っても混雑していて、人を避けながらでなければ前に進めないほどだった。

外国人旅行者が多いこの通りでは、売り子が値段を吹っかけてくるのは普通だが、客としては交渉しながら、値段を下げる過程がゲームのようで楽しい。売り子の方でも、外国人旅行者が多いことを心得ていて、あちこちの露店で片言の英語や日本語、ロシア語などが飛び交う。不思議にインターナショナルな空間だった。

だが、多くの買い物客でにぎわっていた秀水市場は、もうない。05年に入って間もない1月6日に、ついに撤去されてしまった。

以前も、愛用していた露店の服飾市場が撤去されたことがある。露店は、雨の日や風の日は面倒だが、デパートやスーパーのような建物の中の売り場とは違って、外の空気を吸いながら、開放的な空間で、時にはアイスクリームなどを舐めながらでも、ゆっくり買い物ができる点が気に入っていた。日本でも、そんな露店は本当に数えるほどしか残っていないだろう。それだけに、貴重な存在だった。

いつ行っても人でいっぱい。ありし日の秀水市場

撤去の話は5年ほど前から出ていたが、その度に立ち消えになっていた。だが今回は、昨年の夏ごろから、かなり具体的な話と動きが進んでいた。秀水市場の通りの横にビルを建て、露店をその中に収容するというのだ。実のところ秀水の電気や水は近所の大使館からこっそり失敬して使っていたり、売っているものにまがい物が混ざっていたりと、やましいと思われる部分がなかったわけではない。だが、改革開放とともに生まれたこの市場は、中国の経済成長の象徴のような存在だった。

もちろん、新しいビルはこれまでの露店とは比べ物にならないほど立派で、真冬でも寒くなく、雨も気にしなくていい。安全対策のために夕方までで店が閉まることもなく、夜中でも買い物ができるという。観光客の買い物の場としては、さらに便利になることは間違いないだろう。

古いもの、洗練されていないものが淘汰されるのは世の常かもしれない。だが、やはり一抹の寂しさを感じずにはいられない。北京市はオリンピックを08年に控え、急ピッチで近代化を進めている。秀水市場よりさらに歴史のある通りや建物が次々に姿を消していく。本当にそれでいいのだろうか。時に、疑問を投げかけたくなる。

ニュースくりっぷ

◆女性のためのアジア平和国民基金解散

「女性のためのアジア平和国民基金」（村山富市理事長）は、目的を達し07年3月に解放すると発表。元「慰安婦」への償いを民間の基金で行ったが、対象の国はフィリピン、韓国、台湾の3国のみ。この3国の中でも受け取った人、拒否する人に分かれ被害者同士の対立をよんだ。

◆NHK会長辞任

不祥事による受信料不払い急増の責任をとり海老沢勝二NHK会長が辞任（1月25日）。異例の長期政権に幕。番組改ざん問題には関係なしと。後日、顧問として残ると発表。

◆国籍条項訴訟

日本国籍がないため、都の管理職試験の受験を拒否された鄭香均さんの上告審判決が26日、最高裁大法廷で行われ、「外国籍の受験拒否は法の下の平等を定めた憲法に反しない」と東京高裁判決を破棄、原告の請求を棄却した。裁判官15人中13人の多数意見。

なぜ、こんな国になったのだろう？
―主権は国民にあることを忘れないで。―

女性ニューズ The Women's News, Japan

2004年度山川菊栄賞
『黄土の村の性暴力～大娘たちの戦争は終わらない』

「性暴力の視点から見た日中戦争の歴史的性格」研究会

石田　米子さん

2004年度の山川菊栄賞『黄土の村の性暴力～大娘たちの戦争は終わらない』（創土社・刊、2800円）の編者。執筆した〈性暴力の視点から見た日中戦争の歴史的性格」研究会〉を代表して受賞記念講演を行った。

「この本は調査に参加したメンバー14人が書いたもの。私はたまたま講演をすることになっただけです…」。

大変な調査記録である。中国山西省の首都太原の東北の山地・盂県で、日本軍の性暴力を受けた被害女性たちの現地聴き取り調査を1996年から6年間18回行った。調査をもとに研究会を16回開催。それが、この本になった。盂県付近は、日中戦争の初期から日本軍が重視し進撃したところで、八路軍の強いところだった。女性たちは「敵の女」として兵士たちに容赦なく強姦、拷問された。被害女性、周辺の村人の聴き取りで事実を鮮明にし、この地域への日本軍の作戦の研究も入り、戦争と性暴力を構造的に明らかにしている。性暴力の問題を調査した本はかなりあるが、これだけ時間をかけ精密に行ったものは初めてだろう。

石田さんが、この調査に係わるきっかけになったのは1992年、東京で開かれた「慰安婦問題」の国際公聴会だったという。中国人として初めて日本軍による性被害を訴えた万愛花さんが証言。3回、日本軍に連行され、輪姦、拷問。身長が20センチも縮んだと告発するうち、ショックで舞台で失神した。「私はこれを岡山でテレビのニュースで見ていました。衝撃をうけました」。

石田さんは、本職は岡山大学の中国史の教員（現在名誉教授）。「辛亥革命が専門で、山西省とは縁がなかったのですが…」。このときの驚きが忘れられず、この地に調査に行くという話を聞いて「仲間にいれてもらいました」。

調査には、ジャーナリスト、弁護士、会社員、学生さまざまな職業の人が手弁当で参加した。一回だけ参加の人もいたが、毎回調査に参加した人が多い。「戦争における性暴力の凄まじさ。そしてそれに立ち向かい自らの尊厳を回復しようとしている大娘（ダーニャン＝おばあさん）たちに心をうたれ、のめりこんでいったというか」

調査も大変だった。被害者は方言しか話せない。北京で頼んだ通訳の標準語は通じない。二重通訳をしたり、大事なところはテープにとって再チェックをしたり。

「調査に応じてくださった人も、初めはとぎれとぎれにしか話さない。被害の場面だけを早口で語り、早く帰ってほしいという方もいる。辛い現実は言えないのです。それが調査を積み上げるうちに信頼関係が出来て、詳しく話してくださるように」。村人たちも初めはなかなか語らなかった。

「侵略者たちから女性を守れなかったのは、男たちの、村の〝恥〟なんですね」

調査が始まって二年半後被害女性たちは、日本政府に謝罪と賠償を求める裁判に踏み切る（98年）。初め調査を複雑な目で見ていた中国人たちの中でも「勇気をもって立ち上がった大娘たちを支援しよう」という人が増えているという。

「戦争を知らない人々にこの本をぜひ読んでほしい。戦時下の女性への暴力の実態を目を背けず知ってほしいと思います」

聞き取り調査6年
被害者との信頼関係の中で
戦争と性暴力を構造的に解明

最優秀賞『先生がお手本』
均等法後20年働く女性の今

「働く女性の今を写した写真コンテスト」

女性と仕事の未来館＝が最優秀賞に決まった。

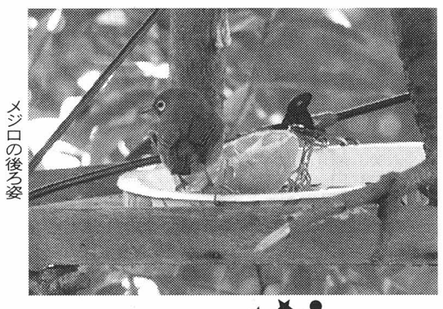
（東京・田町　渥美雅子）館長）では、かねてより、「働く女性の今を写した写真コンテスト」の作品を募集していたが、このほど、入賞作品6点が選ばれ、その中から、『先生がお手本』（福岡市・田渕志保さん）＝写真府県から297点（総人数147人　男105人、女42人）。新しい職場に進出した人や、元気に働くさまざまな女性の姿が寄せられた。期待以上の写真が寄せられたことから、同館では、コンテストを今後も継続開催していくという。

同コンテストは、均等法20年後の今を働く女性を記録した写真を全国から募ったもので、募集期間（2004年2月1日～11月14日）に寄せられた作品数は、全国35都道

入賞した作品は、3月5日(土)から同館地下1階企画展示ロビーで開催の「第1回写真で見る女性と仕事展～働く女性の今は、昔は。」で展示される。同展では入賞作品のほか、個人や企業から提供された明治・大正から1960年代ごろまでの働く女性を写した写真を中心に、約100点が展示される。

問合せ…女性と仕事の未来館☎03・5444・4151

冬の会館――静かな時を迎え



メジロの後ろ姿

冬本番、会館の構内が1年のうちで最も静かな季節になりました。

去年、暖冬だったせいか、今年の冬はいつもにも増して寒さを感じます。

この季節、構内を賑わしていた殆どの生物たちは、その動きを潜めてしまいます。鴨のつがいは体を丸め、池の鯉も冬眠にでも入ったかのように、水面にうっすらとその姿を映したまま、固まってしまいました。

しかし、そんな中でも幾つかの種類の小鳥たちは、元気にあちこちを飛び回り、動きの少なくなった構内に、活気を与えてくれています。私たち会館職員も、この鳥たちの元気を分けてもらおうと、近くでその姿が見られるよう、本館事務棟の窓の近くにある樹木の上に、餌箱を一つ設けてみました。メジロやコゲラ、シジュウカラなど、様々な小鳥がやって来て、オレンジやヒマワリの種などの餌をついばむ姿は、会館職員にホッとする一時と、寒い冬を乗り越えるための、少しばかりの活力を与えてくれています。

寒さに負けず、冬を飛び回る小さな鳥たち。私たちもこの小鳥たちに負けずに今年一年、精一杯頑張っていこうと思います。

今年もよろしくお願いします。（MK）

小鳥たちからもらう〝元気〟

ヌエック つミこみネット

独立行政法人
国立女性教育会館（ヌエック）
〒355－0292埼玉県比企郡
嵐山町大字菅谷728番地
☎0493・62・6711（代）
URLhttp://www.nwec.jp
E-mail webmaster@nwec.jp

届け、くま大使の願い
スマトラ沖地震・津波緊急支援キャンペーン
ユニセフ・ベアーで緊急募金

財団法人日本ユニセフ協会（澄田智会長）は、スマトラ沖地震・津波被害地域支援のためのキャンペーンを3月31日まで実施する。

キャンペーンの1つは、ユニセフに製品の中で人気のあるベアーの『マヒちゃん』と、お友達のシロクマの『マンダちゃん』を「くま大使」として販売し、価格の50%を緊急募金に当てる。ユニセフが製品販売で、このように特定の地域を限定したのは初めて。

ユニセフ・ベアー2個の協力で、5人分の緊急保健キットを提供することができる。キットの中には基礎的な医療器具と医療品3カ月分が入っている。

『マヒちゃん』『マンダちゃん』（中国製）は、価格3500円、サイズ32センチ。手元に届くまでに約1週間ほどかかるが、ユニセフでは、「プレゼント用も承ります」と言っている。

申込み…☎03・3590・5050（9時～18時、土・日・祝を除く）。インターネット〈ユニセフ製品関連サイト〉http://www.unicef.or.jp/card/cardtop.html

納品時に請求書を同封する（送料は申し込み金額に応じて）。

左・マヒちゃん　右・マンダちゃん

地域の情報発信を
活動レポーター募集中

月刊『We Learn』（財・日本女性学習財団）では、特色のある女性の地域活動について情報提供する「女性活動レポーター」を募集中。

任期は、2005年4月1日から2006年3月31日までの1年間。女性の教育・学習、次世代育成の学習などに関するユニークな実践活動や、女性問題解決に向けた実践的な取り組みについて、年間3事例を編集部に情報提供（所定様式）。その中から採用された事例について、原稿執筆依頼がある場合がある。謝礼は、同誌1年分と、原稿執筆謝礼。10名程度（性別不問）。

希望者は、プロフィール、応募理由などを所定の応募用紙に書いて応募。応募締め切り…3月10日(木)、決定は3月下旬。

詳細・資料請求…『We Learn』編集部☎03・3434・7575、FAX03・3434・8082へ。

●…月刊『We Learn』…●

【お断り】「この味いかが？」は、お休みです。　編集部

難民8割は女性と子ども
インド洋大津波被災者緊急支援
NPO・日本国連HCR協会

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の日本における公式寄付窓口・認定NPO法人・日本国連HCR協会は、インド洋大津波（スマトラ沖地震津波）被災者に緊急支援を呼びかけています。UNHCRの本来の職務は難民支援ですが、今回の被害の大きさに、アナン国連事務総長から協力要請があり、インドネシアのアチェ、スリランカ、ソマリアで仮設住宅や救援物資（毛布、調理器具等）の供給を担当しています。24時間体制で携わっておりますが、難民の数が多く（8割は女性と子ども）大変です。6カ月で約27億円が必要。難民支援のUNHCRが津波被災者の援助をやっていることは意外と知られておらず、支援寄付金があまり集まっておりません。皆様の支援をお願いします。ご寄付は、寄付金控除の対象です。

郵便振替00140・6・569675　HCR協会　通信欄に「津波」とご記入ください。

んほ

「雪印100株運動」
企業の原点・企業の責任

田舎のヒロインわくわくネットワーク編
やまざきようこ　榊田みどり　大石和男　岸康彦

2000年6月、雪印乳業の加工乳、乳飲料から食中毒事件が発生。対応の遅れもあり、雪印への信頼は一夜にして失墜した。消費者が雪印を見放したとき、生産者の女性たちは雪印がつぶれたら牛乳の出荷先がなくなる。海外の乳製品が激増、日本国内で生産された牛乳がのめなくなってしまうと危惧した。そして考えたのが雪印100株購入運動。ひとりが100株買えば10人で100株、1人が代表になって株主総会に出席し、生産者の思いを企業にぶちまけようということになった。そして2001年の株主総会に代表9人が出席できた。

農家の思いを株主総会で語るが、多くの雪印の社員にとって生産者とじかに接するのは初めてのことだった。14回におよぶ企業と生産者の対話が行われ、社員の農業現場での体験も始まった。雪印の役員が男ばかりなのは異様だという「ヒロイン」たちの意見で消費者代表の女性役員の実現もできた。

だが企業の体質改善がこの程度でいいのか。生産者が一番望んでいたのは生乳部門の改善だが、結局この部門は雪印からなくなった。株主になって奮闘した「ヒロイン」たちの気持ちは生かされたのか。疑問もあるが、ともかくこのユニークな運動の記録がまとまったのはよいことだ。著者たちはやまざきさん（ネットワークの代表）以外はジャーナリストだが、良く取材し、読みやすい。（創森社　1500円＋税）

おしらせ

2月3日(木)
◆派遣・請負トラブルホットライン　5日(土)まで毎日12時～20時　☎03・5338・1268　主催…全国ユニオン

◆2005年世界女性行進日本連絡会発足集会　18時30分　全国教育文化会館（地・麹町駅5番出口すぐ）　経過報告、スローガン、年間計画ほか　連絡…事務局☎03・3401・6147（婦団連）

2月4日(金)
◆講演会・支援者として「女性のからだと性」を考える～女性の基本的人権の核心としてのリプロダクティブ・ライツ／ヘルス　13時30分　矯風会第二会館　三輪和恵（NPO女性の安全と健康のための支援教育センター）　主催…婦人保護施設慈愛寮☎03・3361・2578

◆もうたくさん　石原都知事　今すぐ「ババァ発言」を謝罪して去れ　18時30分　文京シビックホール（地・後楽園駅3分）　「原告陳述書の朗読アクション」竹森茂子ほか「石原裁判でみえてきたもの　勝ち取ったもの」中野麻美（弁護士）　500円　連絡…石原都知事の「ババァ発言」に怒り、謝罪を求める会☎03・3940・3904

2月5日(土)
◆話すレッスン＝ことばで伝える力を磨く　10時30分　26日まで毎土曜　全4回　すてっぷ（阪急・豊中駅すぐ）　関岡香（毎日放送アナウンサー）、佐々木敬子（情報の輪サービス㈱代表取締役）　400円　女性先着30人　主催・問合せ…同所☎06・6444・9773

◆阪神淡路大震災10周年シンポ「大規模災害に備えて我々はなにをすべきか」　13時30分　弁護士会館（地・霞ケ関駅）　基調講演「災害時における専門家職能団体の社会的役割＝これからの災害に備えて」塩崎賢明（神戸大教授）、東京都における復興まちづくり訓練の成果発表、パネルディスカッション　無料　主催・災害復興まちづくり支援機構　問合せ…第二東京弁護士会☎03・3581・2257

◆〝医療を変えたい！〟いま富士見民事判決で医師免許取消しを　13時　後楽園会館（地・後楽園5分）　小西熱子（被害者同盟代表）、内田剛弘（弁護士）、城戸浩正（同）、佐々木静子（医師）　500円　連絡…☎&FAX04・2954・5223

◆平和の灯を連ねて～世界中に憲法9条を　14時　主婦会館プラザエフ（JR・四ツ谷駅麹町口2分）　「紛争・貧困・私の出会った人。そして子どもたち」郡山総一郎（フリーカメラマン）、ディスカッション「なぜ？どうして憲法9条？」　無料　主催・連絡…東京法律事務所☎03・3355・0611

2月6日(日)
◆第5回ローズWAMまつり　10時～20時30分　茨木市立男女共生センターローズWAM（阪急・茨木市駅5分）　14時「未来を創る男と女～いま、ひとりひとりができること～」渥美雅子（弁護士）　コンサート・MASA　JAZZ　LIVE、ワークショップ、展示、体験ほか　入場無料　問合せ…同所☎072・620・9920

◆2／6総決起集会「日の丸・君が代」の強制と処分を許さない　13時　日本教育会館（地・神保町駅5分）　大内裕和、小森陽一、高橋哲哉、斉藤貴男、連帯挨拶、決意表明　500円　主催…都教委包囲首都圏ネット☎042・571・2921

◆シンポジウム「男性運動の10年、進捗と課題」　17時　ローズWAM（阪急・茨木市駅5分）　岡本賢二（茨木市男女共同参画課長）、中村彰（メンズセンター）、大束貴生（同）、藤原公夫（ロマンの会）ほか　問合せ…☎&FAX072・635・3502藤原

2月7日(月)
◆緊急シンポジウム・NHK番組改変・政治介入事件の原点を徹底検証　18時15分　東京ウィメンズプラザ　発言予定…坂上香（元・ドキュメンタリージャパン）、西野瑠美子（VAWW－NET）ほか　主催…メキキ・ネット　FAX020・4666・7325

◆ラム「つなぐ　つながるつなぎあう」　18時　12日(土)20時まで　東京ボランティア・市民活動センター（JR・飯田橋駅すぐ）　10日＝オープニング記念特別講演・日野原重明（医師）、分科会、全体会、交流会ほか　1000円（特別プログラムは別途料金）　問合せ…同センター☎03・3235・1171　http://www.tvac.or.jp/

2月8日(火)
◆DV防止へ向けての支援～医療現場からの発信　13時30分　14日(月)18時30分　タワーホール船堀（地・船堀駅）　8日＝小竹久美子（まつしま産婦人科小児科病院師長）、14日＝佐々木静子（同院院長）　申込み…江戸川区女性センター☎03・5676・2455

◆働く女性のためのスキルアップセミナー「話す力・聴く力を鍛える！」　18時45分、10日(木)、15日(火)とも　東京ウィメンズプラザ　8日「コツを知る！」、10日「技を学ぶ！」、15日「力を鍛える！」　コーディネーター・上田晶美（ハナマルキャリアコンサルタント代表）他　2000円（3日間資料代）　40名　都内在住・在勤の女性　申込み・問合せ…同所☎03・5467・1980

2月10日(木)
◆ボランタリー・フォーラム「つなぐ　つながるつなぎあう」　18時　12日(土)20時まで　東京ボランティア・市民活動センター（JR・飯田橋駅すぐ）　10日＝オープニング記念特別講演・日野原重明（医師）、分科会、全体会、交流会ほか　1000円（特別プログラムは別途料金）　問合せ…同センター☎03・3235・1171　http://www.tvac.or.jp/

2月11日(金)
◆2005年2月研修講座「支援としての成長」　10時　12日(土)とも　明治乳業ホール（地・東陽町駅10分）　基礎コース「女性の人生に対する暴力の影響」、専門コース「支援者としての成長」　麻鳥澄江、三輪和恵（保健師）、角田由紀子（弁護士）ほか　3万円　問合せ…NPO法人女性の安全と健康のための支援教育センター☎03・5684・1411

◆改憲と天皇制を考える2・11集会　13時　渋谷勤労福祉会館（渋谷駅5分）　笹沼弘志（憲法学）、高尾利数（宗教学）　集会後デモ　主催…2・11反「紀元節」行動実行委　連絡…☎090・3438・0263

◆「地方分権」で子どもや女性の命が守れますか？　13時　お茶の水女子大学・講堂（地・茗荷谷駅7分）　シンポジウム『人命を守るナショナル・スタンダード』確立に必要なもの」片山善博（鳥取県知事）、吉田恒雄（駿河大教授）、朴慶南（エッセイスト）ほか、500円　主催…実行委　問合せ…DV法を改正しよう全国ネットワーク☎090・9230・4484

◆平和憲法を生きる！　14時　日本教育会館（高田健（九条の会）事務局）　終了後デモ　主催…建国記念の日・靖国国営化阻止2・11東京集会実行委

2月12日(土)
◆この指とまれ「仕切ってみようマイ葬儀」　10時　3月27日(日)まで全5回　スペースアデュー（地・入谷駅10分）　「葬儀双六ってなに？」「手順やいかに」、「マイ葬儀の見積」、「ようやく八合目」、「模擬葬儀」1万円（全5回）、模擬葬儀のみ3500円　ワークショップ10名　模擬葬50名　申込み・問合せ…キャラリー葬送博物館とむらい塾事務局☎045・264・2981

◆いま、戦争と平和を考える　13時　日本プレスセンターホール（地・霞ケ関駅C4）　「日米首脳の発言にみる9・11から自衛隊派遣延長まで」吉岡忍（ペンクラブ理事）、シンポジウム「戦争と言論」井上ひさし（ペンクラブ会長）、酒井啓子（アジア経済研究所）　ミニ講演　総括　声明発表と公開記者会見…井上ひさし、下重暁子（副会長）、阿刀田高、新井満（常務理事）ほか　500円　400名　問合せ…日本ペンクラブ事務局☎03・5614・5391

◆生命（いのち）って何だろう？～それぞれの生き方から　13時　TAMA女性センター（京王・聖蹟桜ケ丘駅）、13日(日)14時　関戸公民館　12日「生命の誕生と終焉～生命倫理と法～」只木誠（中央大教授）、13日「国際養子縁組に関わって～子どもたちのしあわせを願い」松島鋭男（企業法務顧問）　無料　各30名　問合せ・申込み…同センター☎042・355・2110

◆日曜クラブ懇談会　14時　文化学院107号室（JR・御茶ノ水駅6分）　「ロシア国民の人生と生活。日本および英国との歴史的パースペクティブでの比較」辻義昌（早大教授）ほか　1500円　問合せ…同会☎&FAX03・3203・9782

2月13日(日)
◆第16回アディクション・セミナーinYOKOHAMA　10時　横浜女性フォーラム（JR・戸塚駅5分）　アルコール、薬物などの依存症やアダルト・チルドレンなどの当事者と家族、関係者が集まり、理解と交流を深める　1500円　問合せ…アディクション・セミナー実行委☎080・3445・9607

◆自立の子育て、親育ち　13時30分　ドーンセンター（地・天満橋駅5分）　澤井登志（ウィメンズ・メンタルさぽーと大阪）　1000円　中学生以上の子どもを持つ人　申込み…一週間前振り込み分まで　主催・問合せ…☎&FAX06・6791・7667澤井

2月14日(月)
◆平成17年度国の女性関係予算案を聞く会　10時～16時30分　婦選会館（JR・新宿駅南口7分）　内閣府、文科、厚労、農水各省担当官から女性関係予算案の説明、質疑　1200円　70名（申込み先着順）　申込み・問合せ…財市川房枝記念会☎03・3370・0238、FAX03・5388・4633

2月16日(水)
◆詩と語りと音楽と「詩人・尹東柱を偲ぶつどい」　18時　自由学園明日館（JR・池袋西口5分）　石川逸子（詩人）、高山真樹（俳優座）ほか　2500円（要予約）　40名　問合せ…詩と朗読「焚き火」の会☎090・9236・2573伊藤

2月18日(木)
◆「性暴力被害者支援～医療現場からの発信」　13時30分　14日(月)18時30分　タワーホール船堀（地・船堀駅）　8日＝小竹久美子（まつしま産婦人科小児科病院師長）、14日＝佐々木静子（同院院長）　申込み…江戸川区女性センター☎03・5676・2455

◆働く女性のためのスキルアップセミナー「話す力・聴く力を鍛える！」　18時45分、10日(木)、15日(火)とも　東京ウィメンズプラザ　8日「コツを知る！」、10日「技を学ぶ！」、15日「力を鍛える！」　コーディネーター・上田晶美（ハナマルキャリアコンサルタント代表）他　2000円（3日間資料代）　40名　都内在住・在勤の女性　申込み・問合せ…同所☎03・5467・1980

◆ボランタリー・フォーラム「つなぐ　つながるつなぎあう」　18時　12日(土)20時まで　東京ボランティア・市民活動センター（JR・飯田橋駅すぐ）　10日＝オープニング記念特別講演・日野原重明（医師）、分科会、全体会、交流会ほか　1000円（特別プログラムは別途料金）　問合せ…同センター☎03・3235・1171　http://www.tvac.or.jp/

2月19日(土)
◆「性暴力被害者支援～医療現場からの発信」　13時30分　14日(月)18時30分　タワーホール船堀（地・船堀駅）　8日＝小竹久美子（まつしま産婦人科小児科病院師長）、14日＝佐々木静子（同院院長）　申込み…江戸川区女性センター☎03・5676・2455

◆「地方分権」で子どもや女性の命が守れますか？　13時　お茶の水女子大学・講堂（地・茗荷谷駅7分）　シンポジウム『人命を守るナショナル・スタンダード』確立に必要なもの」片山善博（鳥取県知事）、吉田恒雄（駿河大教授）、朴慶南（エッセイスト）ほか、500円　主催…実行委　問合せ…DV法を改正しよう全国ネットワーク☎090・9230・4484

◆平和憲法を生きる！　14時　日本教育会館（高田健（九条の会）事務局）　終了後デモ　主催…建国記念の日・靖国国営化阻止2・11東京集会実行委

2月20日(日)
◆木の色・森の色・日本の色　2日(水)～20日(日)10時～19時　ポーラミュージアムアネックス（地・銀座一丁目駅すぐ）　日本の自然を撮り続けるカメラマン・野呂希一さんの作品をアートディレクター・蒲原裕美子さんがプロデュース　※トーク…2月5日(土)14時　予約先着50名　問合せ…同所☎03・3563・5501

▼写真展「地球を生きる子どもたち」　5日(土)～3月21日(月)(祝)　10時～19時　Bunkamuraザ・ミュージアム（渋谷・東急本店横）　19世紀後半から今日に至るまで約150年間に世界中の写真家200余名が撮った子どもの写真約260点　一般1000円、大高生800円、中小生500円　問合せ…ハローダイヤル☎03・5777・8600

▼地人会実験劇場①白夜の国からふたつの一人芝居　11日(金)(祝)～20日(日)　隅田川左岸劇場ペニサン・ピット（地・森下駅10分）　『緑のかげのなかへ』＝フィン・メトリング・作、毛利三彌・訳、床嶋佳子・出演、浅沼一彦・演出、『夫への日記』フィン・カーリング・作、ルイス・ミュインツア・脚色、毛利三彌・訳、川口敦子・出演、保科耕一・演出　4500円（全席指定／税込）　申込み・問合せ…地人会☎03・3354・1279

出かけてみませんか

2月

◆〝自然と人間〟を考える　2日(水)～4日(金)　10時～17時　ギャラリー・ルーム（地・後楽園5分）　小西熱子（被害者同盟代表）、内田剛弘（弁護士）、城戸浩正（同）、佐々木静子（医師）　500円　連絡…☎&FAX04・2954・5223

◆平和の灯を連ねて～世界中に憲法9条を　14時　主婦会館プラザエフ（JR・四ツ谷駅麹町口2分）　「紛争・貧困・私の出会った人。そして子どもたち」郡山総一郎（フリーカメラマン）、ディスカッション「なぜ？どうして憲法9条？」　無料　主催・連絡…東京法律事務所☎03・3355・0611

◆〝医療を変えたい！〟いま富士見民事判決で医師免許取消しを　13時　後楽園会館（地・後楽園5分）　小西熱子（被害者同盟代表）、内田剛弘（弁護士）、城戸浩正（同）、佐々木静子（医師）　500円　連絡…☎&FAX04・2954・5223

◆平和の灯を連ねて～世界中に憲法9条を　14時　主婦会館プラザエフ（JR・四ツ谷駅麹町口2分）　「紛争・貧困・私の出会った人。そして子どもたち」郡山総一郎（フリーカメラマン）、ディスカッション「なぜ？どうして憲法9条？」　無料　主催・連絡…東京法律事務所☎03・3355・0611

◆〝医療を変えたい！〟いま富士見民事判決で医師免許取消しを　13時　後楽園会館（地・後楽園5分）　小西熱子（被害者同盟代表）、内田剛弘（弁護士）、城戸浩正（同）、佐々木静子（医師）　500円　連絡…☎&FAX04・2954・5223

◆平和の灯を連ねて～世界中に憲法9条を　14時　主婦会館プラザエフ（JR・四ツ谷駅麹町口2分）　「紛争・貧困・私の出会った人。そして子どもたち」郡山総一郎（フリーカメラマン）、ディスカッション「なぜ？どうして憲法9条？」　無料　主催・連絡…東京法律事務所☎03・3355・0611